

令和8年度入学試験問題(前期日程)

# 総 合 問 題<教育学部>

(120分)

## 注 意 事 項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
2. この問題冊子は全部で25ページあります。また、問題冊子とは別に解答用紙4枚(その1～その4)、下書き用紙(白紙)2枚が配付されます。
3. 解答開始後、すべての解答用紙指定欄に受験番号、名前を記入しなさい。
4. 解答は、必ず解答用紙の指定された箇所に記入しなさい。
5. 試験終了後、問題冊子と下書き用紙は持ち帰りなさい。

I 次の文章は、1986年に医師となり、さまざまな国から日本にやってきた多数の外国人の診療に関わってきた筆者によるものである。文章を読んで、後の問1～問6に答えなさい。

著作権保護の観点から公開していません。

著作権保護の観点から公開していません。

(中略)

著作権保護の観点から公開していません。

著作権保護の観点から公開していません。

出典：沢田貴志「第3部 第7章 外国人医療の現場から見えてくる日本社会の課題」  
李修京・林尚示・藤井健志『多文化共生社会のために』明石書店、2025年  
(一部改変)

問 1 下線部(1)は、何の略称か。(ア)～(オ)の中から適切なものを1つ選び、記号で答えなさい。

- (ア) Non-Geographical Organization
- (イ) Non-Governable Organization
- (ウ) Non-Governmental Organization
- (エ) Non-Grammatical Organization
- (オ) Non-Geological Organization

問 2 以下の文章は、下線部(a)について説明したものである。  ～  に入る、適切な言葉の組み合わせを次の(ア)～(オ)の中から1つ選び、記号で答えなさい。

結核は、結核菌と呼ばれる  が体の中に侵入して定着・増殖して起こる病気であり、感染者のせきやくしゃみによって空気中に放出された結核菌を吸い込むことで感染する。主な症状は、せき、  である。かつては日本の死因の1位でもあったが、生活水準の向上、予防接種や治療薬の使用などにより激減した。しかし、その後再び増加し、現在でも毎年多くの患者が発生している。日本は先進諸国の中では発生率が  状況にある。近年では、薬が効きにくいタイプの結核菌の出現や、都市部を中心とした不特定多数の人が集まる場所での感染拡大なども問題になっている。

- (ア) ①病原体 - ②おう吐、下痢 - ③低い
- (イ) ①病原体 - ②たん、発熱 - ③低い
- (ウ) ①免疫体 - ②おう吐、下痢 - ③高い
- (エ) ①病原体 - ②たん、発熱 - ③高い
- (オ) ①免疫体 - ②たん、発熱 - ③低い

問 3 本文中の A に入る、世界規模の金融危機を示す用語を答えなさい。

問 4 下線部(b)に対する筆者の見方が読み取れる表現を本文中より 4 字で抜き出して答えなさい。

問 5 次の(ア)~(オ)について、本文に述べられている内容と一致するものには○を、一致しないものには×を、それぞれに答えなさい。

(ア) 日本国内の多くの中小企業が労働力を必要としていた 1990 年代当時の外国人労働政策は、単純労働者の就労を認めていなかった。

(イ) 日系外国人であることを条件として就労可能なビザを提供し、大きな工場の労働者として日本に招聘する政策が 2000 年代に開始され、その政策は 2010 年以降もしばらくは継続された。

(ウ) 2000 年代に総務省が多文化共生政策を打ち出して以降、多言語の職員を雇用する自治体が増加した。

(エ) 2008 年に起きた経済の停滞以前から、技能実習生や日本語学校生で日本国内の労働力不足を補う政策が行われていた。

(オ) 2000 年代に自治体で進められた医療通訳制度の取り組みは 2010 年以降停滞してしまっただが、その後は厚生労働省によって進められた医療通訳事業が引き継いだため、実質的な停滞はなかった。

問 6 本文全体の趣旨ともっとも一致するものを次の(ア)~(オ)の中から1つ選び、記号で答えなさい。

- (ア) 日本人による国際貢献は、フィリピンなどの開発途上国における医療活動のように国外で展開されるものが注目されがちであるが、日本国内における開発途上国からの出稼ぎ労働者に対する支援活動も国際貢献であり、もっと展開される必要がある。
- (イ) 日本が持続可能な社会の実現をめざすうえで、労働力として外国人を受け入れるのであれば、それらの人々の定住を視野に入れた、医療・福祉分野を含む生活支援の枠組みの整備が、日本には不可欠である。
- (ウ) 多文化共生政策と、労働力として外国人を受け入れ日本が持続可能な社会の実現をめざすこととは、本質的には別の話であるため、それらを一体とする政策は、感染症の拡大や社会の不安定化といった新たな課題を生む可能性がある。
- (エ) 日本在住の外国人労働者の中には、医師とのコミュニケーションが難しいことから、医療機関に行かない、もしくは、行けない人が多数いるため、日本人や日本生まれの外国人の通訳を主軸とした医療通訳の枠組みの整備が日本の急務である。
- (オ) 技能実習生や日本語学校生の受け入れ政策には課題もあるが、現実的には日本を支える労働力となっており、これらは、日本が多様性を尊重した共生社会の構築をめざすうえで、不可欠な政策である。

(次ページにも問題があります。)

Ⅱ 次の文章は海外の子どもたちの通学に関するものである。文章を読んで、後の問1～問7に答えなさい。

著作権保護の観点から公開していません。

著作権保護の観点から公開していません。

出典：UNICEF, Spotlight 4 Children's journeys to school, *UNICEF Innocenti Report Card 17 Places and Spaces: Environments and children's well-being*, 2022.

(<https://www.unicef.org/innocenti/media/1776/file/UNICEF-Report-Card-17-Places-and-Spaces-EN.pdf>) (一部改変)

(注) motorized traffic：自動車による交通

industrialized countries：工業化された国々

mobility：移動性

consequent：結果

implication：影響

social well-being：社会的福祉

participatory research：参加型研究

highlight：～を強調する

flora and fauna：動植物

narrative：語り

attachment：愛着

socialize：社会的に交際する

introspection：内省

unsupervised：付き添いなしで

spontaneously：自発的に

impromptu：用意なしの

peer：仲間

photovoice study : ここでは、参加者が写真を撮り、写真について語ることに  
よって、参加者の環境に対する認識を表現させる研究を指す。

depict : 描写する

junction : 交差点

hostile : 敵対的な

enhance : ~を高める

en route : 途中の

問 1 以下の文章は下線部(1)に関するものである。 (ア) ~ (エ) に当ては  
まるもっとも適切な語句を、(a)~(i)の中から選び、記号で答えなさい。

中心都市の経済活動の発展に伴い、地方から都市への (ア) が進むことで  
都市化が進行する。都市化により、就業や教育の機会が増え、高い生産性が実現  
されるといったメリットがある。一方で、急速な都市化はさまざまな都市問題を  
引き起こしている。例えば、都市化が急速に進むことでインフラ整備が追いつか  
ず、交通渋滞や自動車の排気ガスによる (イ) も深刻な問題となっている。  
また、ヨーロッパやアメリカの都市では、都心部に低所得者や高齢者が取り残さ  
れ、治安や生活環境が悪化する (ウ) 問題が発生した。急激な都市化が進む  
開発途上国では、路上での物売りなど公的な許可を受けない経済活動である  
(エ) と呼ばれる、不安定な仕事に就かざるをえない状況も見られる。

- |                  |              |          |
|------------------|--------------|----------|
| (a) ジェントリフィケーション | (b) 一次産業     | (c) 大気汚染 |
| (d) インフォーマルセクター  | (e) 人口分散     | (f) 水質汚濁 |
| (g) インナーシティ      | (h) コンパクトシティ | (i) 人口集中 |

問 2 (1) に入る英文を以下の【日本語訳】を参考にしつつ、( )内の語句を並  
びかえて作成しなさい。語句は文頭の単語もすべて小文字で記しているの  
で、解答では文頭の頭文字を大文字にすること。

【日本語訳】

彼ら(子どもたち)は毎日の通学にどのような意味を付与しているのでしょうか?

( daily / do / meaning / attach / what / commutes / to / their / they ) ?

問 3  ② には同じ前置詞が入る。本文中からもっとも適した前置詞を選び答えなさい。

問 4 下線部(2)の意味にもっとも近いものを次の(ア)~(エ)の中から1つ選び、記号で答えなさい。

- (ア) being with others
- (イ) being busy with games
- (ウ) being in a noisy place
- (エ) being alone quietly

問 5 下線部(3)は、子どもを対象とした調査の結果を紹介している。調査では、子どもが自身の通学路の写真を撮影し、その写真について語るという方法が採用された。次の(ア)~(エ)の語りの中から、下線部(3)の結果を導くのもっとも適切な語りを1つ選び、記号で答えなさい。

- (ア) イラスト 子どもの語り

著作権保護の観点から公開していません。

- (イ) イラスト 子どもの語り

著作権保護の観点から公開していません。

著作権保護の観点から公開していません。

著作権保護の観点から公開していません。

(注) dawdle along : のんびりぶらぶらと行く

子どもの語りは原文ママであり、イラストは子どもが撮影した写真をイラスト化したものである。

出典 : Ross, N. J., 'My journey to school ...' : Foregrounding the meaning of school journeys and children's engagements and interactions in their everyday localities, *Children's Geographies*, 2007.

(<https://doi.org/10.1080/14733280701631833>) をもとに作成

問 6 下線部(4)に対応する主語を本文中から抜き出し答えなさい。

問 7 本文の内容と一致するものを次の(ア)～(オ)の中から3つ選び、記号で答えなさい。

- (ア) 子どもたちの通学方法の変化は、子どもの身体や心理、社会的福祉に負の影響を与えている。
- (イ) カナダの研究では、徒歩通学の子どもたちよりも、車で通学する子どもたちの方が環境への愛着が強い傾向が見られた。
- (ウ) 付き添いなしで通学する子どもたちは、別の通学ルートを選ぶなど、自分で判断して行動する自由を楽しんでいる。
- (エ) 車で通学する子どもたちは、通学において友達と交流する機会を逃していると感じているが、通学の時間で音楽を聴くなどして有効に活用している子どももいる。
- (オ) 交通標識の存在は、低学年の子どもの通学における安心感を高めるのに寄与しない。

Ⅲ 次の文章を読んで、問 1～問 6 に答えなさい。

問 1 表 1 は日本人を対象とした調査における 1 日あたりの平均睡眠時間である。表 1 について述べた次の文章において、 と  にあてはまる数値を答えなさい。 は小数第 2 位を四捨五入して小数第 1 位まで答えなさい。

日本人の睡眠時間は不足していると言われている。厚生労働省が公表した「健康づくりのための睡眠ガイド 2023」によると、成人における適正な睡眠時間は 6～8 時間とされ、少なくとも 6 時間以上確保できるように努めることが推奨されている。しかし、表 1 を見ると 20～29 歳において 6 時間以上の睡眠時間を確保している人の人数は  人であり、50～59 歳で 6 時間以上 8 時間未満の睡眠時間をとっている人の当該階級における割合は  %となっている。

表 1 1 日の平均睡眠時間(人数)

階級	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70 歳以上
総数	402	607	753	1,034	1,004	1,673
5 時間未満	26	58	86	148	87	114
5 時間以上 6 時間未満	126	187	271	429	349	373
6 時間以上 7 時間未満	151	228	280	338	367	526
7 時間以上 8 時間未満	66	109	89	95	158	389
8 時間以上 9 時間未満	26	21	18	19	37	190
9 時間以上	7	4	9	5	6	81

出典：厚生労働省『令和 5 年国民健康・栄養調査報告』、2025 年をもとに作成

問 2 表 2 は睡眠を充分とれているかについてたずねた睡眠の状況の結果である。

①表 2 中の  に当てはまる数値を答えなさい。

②表 1 と表 2 の 50～59 歳における人数の割合について示したグラフとして  
もっとも適切なものを(ア)～(エ)の中から 1 つ選び、記号で答えなさい。

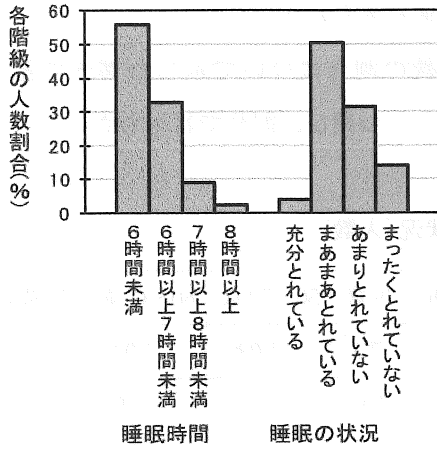
表 2 睡眠の状況(人数)

階級	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70 歳以上
総数	402	607	753	1,034	1,004	1,674
充分とれている	72	86	104	146	195	528
まあまあとれている	224	315	388	522	586	936
あまりとれていない	97	174	228	326	204	194
まったくとれていない	9	32	33	<input type="text" value="(c)"/>	19	16

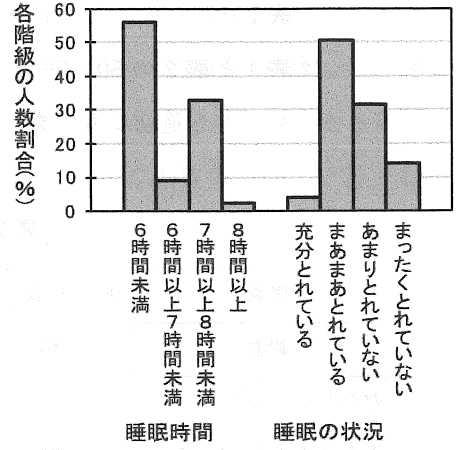
出典：表 1 に同じ

(注) 70 歳以上については表 1 と表 2 で総数が異なるが、調査対象は同一であり、出典のとおり引用している。

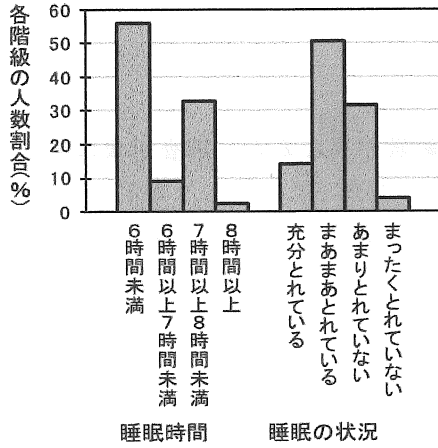
(ア)



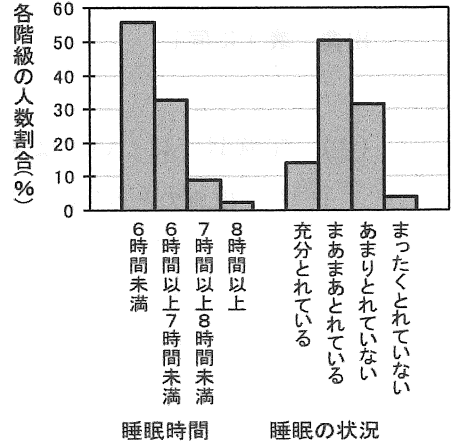
(イ)



(ウ)



(エ)



問 3 表 1 と表 2 から読み取れることについて、次の(ア)~(エ)のうち適切なものをすべて選び、記号で答えなさい。

- (ア) 20~29 歳において 7 時間以上 9 時間未満睡眠をとっている人は必ず睡眠の状況を「充分とれている」と回答している。
- (イ) 睡眠を「まったくとれていない」と回答した人の割合は 30~39 歳がもっとも大きい。
- (ウ) どの階級においても睡眠時間が 6 時間以上 7 時間未満の人たちがもっとも多く、その人たちの大半が睡眠を「まあまあとれている」と回答している。
- (エ) 平均睡眠時間が 5 時間未満の割合は 50~59 歳がもっとも大きい。

問 4 ヒトの睡眠に関する文章について、次の(ア)~(エ)のうち適切でないものをすべて選び、記号で答えなさい。

- (ア) 睡眠時に分泌される成長ホルモンは、眠りに入ってからすぐの浅い眠りのときにもっとも多く分泌される。
- (イ) 睡眠時に分泌される成長ホルモンは、体の成長だけでなく、疲労回復に重要な役割を果たしている。
- (ウ) 就寝 3~4 時間前に軽い運動で体温を上げておくと、ちょうど寝る時間に体温が下がり、眠りに入りやすい。
- (エ) 寝る前にコーヒーなどの刺激物をとると、快適な睡眠につながる。

問 5 表 3 は日本人を対象とした調査での 1 日あたりの平均歩数である。表 3 について述べた次の文章において、 $\boxed{\text{(d)}}$  ~  $\boxed{\text{(f)}}$  には当てはまる階級を、 $\boxed{\text{(g)}}$  と  $\boxed{\text{(h)}}$  には当てはまる数値を、 $\boxed{\text{(i)}}$  は佐藤さんか鈴木さんのどちらか当てはまる方を答えなさい。なお、 $\boxed{\text{(g)}}$  と  $\boxed{\text{(h)}}$  は小数第 3 位を四捨五入して小数第 2 位まで答えなさい。

健康な生活を送るためには、日常における運動も重要である。厚生労働省が公表した「健康日本 21 (第三次)」では 1 日あたり歩数の平均の目標値を 7100 歩としており、 $\boxed{\text{(d)}}$  と  $\boxed{\text{(e)}}$  で平均値が目標値を上回っている。また相対的なばらつきを示す変動係数を見ると、 $\boxed{\text{(f)}}$  で変動係数をもっとも大きい。なお、変動係数は次の式で求めることができる。

$$\boxed{\text{変動係数} = \text{標準偏差} \div \text{平均値}}$$

また、統計における変量の変換のひとつに標準化があり、標準化により平均を 0、標準偏差を 1 に変換された値を標準得点という。標準得点は次の式によって求められ、この標準化により各階級内における個人の位置づけを知ることができる。

$$\boxed{\text{標準得点} = (\text{個人の値} - \text{平均値}) \div \text{標準偏差}}$$

たとえば、この調査の協力者で 35 歳の佐藤さんと 55 歳の鈴木さんがいるとする。2 人とも 1 日あたりの歩数が 6000 歩であるが、それぞれの年代で歩数を標準化して標準得点を求めると佐藤さんは  $\boxed{\text{(g)}}$ 、鈴木さんは  $\boxed{\text{(h)}}$  となり、 $\boxed{\text{(i)}}$  の方が自分が含まれる階級の中で歩数が多いとみることができる。

表3 歩数の平均値及び標準偏差

階級	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70 歳以上
人数	303	475	561	812	826	1,272
平均値	7,141	6,871	7,569	6,930	5,985	4,500
標準偏差	4,873	4,123	4,545	4,208	3,562	3,619

出典：表1に同じ

IV

次の文章を読んで、後の問1～問6に答えなさい。

著作権保護の観点から公開していません。

著作権保護の観点から公開していません。

著作権保護の観点から公開していません。

出典：村上靖彦『客観性の落とし穴』筑摩書房、2023年（一部改変）

問 1 下線部(a)～(d)の漢字をひらがなに、カタカナを漢字に直しなさい。

問 2 本文の趣旨を踏まえ、空欄  に入るもっとも適切な言葉を、次の(ア)～(オ)の中から選び、記号で答えなさい。

- (ア) 大人しいか乱暴か
- (イ) 合理的か情緒的か
- (ウ) 豊かか貧しいか
- (エ) 役に立つか立たないか
- (オ) 道徳的か感覚的か

問 3 下線部(1)のベンサムが提示した功利主義の思想と関連性のある考え方を提示した哲学者とその思想の概要について、正しいものを次の(ア)～(オ)の中から3つ選び、記号で答えなさい。

- (ア) カントは、功利主義がたどり着いた帰結主義の考えを批判し、行為の動機を重視する「義務論」を唱えた。
- (イ) ロールズは、功利主義が少数者の権利を軽視しているとして批判する一方で、公正さを重視し、社会的・経済的格差を是正する福祉を正当化した。
- (ウ) センは、ベンサムが老若男女すべての人の「幸福」を平等に数値化しなかった点を批判し、子どもと大人、障害のある人と健常者の「幸福」を同じ数値で計算することを提唱した。
- (エ) アダム＝スミスは、「最大多数の最大幸福」を追求して政府の役割を軽視する自由放任主義経済を批判し、「大きな政府」の考えを提示した。
- (オ) J.S.ミルは、「快樂の質」に着目し、「身体的快樂」よりも「精神的快樂」の方が高級な快樂であるとする「質的功利主義」を提唱した。

問 4 下線部(2)における「パーツ」と同じ意味で使われている言葉を、本文中から漢字2字で抜き出しなさい。

問 5 本文の空欄 B に入る言葉を、次の(ア)～(オ)の中から1つ選び、記号で答えなさい。

- (ア) 善の基準
- (イ) 数の基準
- (ウ) 幸福の基準
- (エ) 質の基準
- (オ) 健康の基準

問 6 本文の内容と一致するものを、次の(ア)～(オ)の中からすべて選び、記号で答えなさい。

- (ア) 個人の生産「性」は他の人との比較において決まるが、その比較をする主体は組織や国家である。
- (イ) チャップリンは、映画『モダン・タイムス』の中で、社長室でジグソーパズルで暇をつぶす社長の姿とは対照的に、工場ではやりがいを持って生き生きと働く労働者の姿を描いた。
- (ウ) 国家は、個人が健康指標をチェックする仕組みをつくることで、健康に気を遣う意識を持たせ、そういった意識を利用することで医療費を抑制している。
- (エ) 国家が個人を品定めする時の価値基準は、国家にとって「役に立つ」ことであるため、戦争で負傷した傷痍軍人は「経済的に役に立たない」としてうち捨てられた。
- (オ) 幸福は善であるが、「社会全体の幸福がすべての人々からなる全体にとって善」となる場合、マジョリティから外れた人々への配慮が欠けることが懸念される。

(問題は以上です。次ページ以降は白紙です。)